

## 知多市教育委員会と知教労との話し合いまとめ

知多市教育委員会  
永井清司教育長(長) 大西博指導主事(主)

知多地方教職員労働組合(組)  
佐田京美、岩澤弘之、岡崎良久

組 まず、小学校部活廃止の1年前倒しと小学校の夏季半日授業に感謝します。

### 1. 労働条件整備について

ア) 県多忙化解消プラン80時間超過者0%の昨年度末達成状況について

主 達成できたのは小学校で1校。

イ) 文科省の超過月45時間年360時間までの目標と知多市教委の取り組みについて

組 労働法制が変わって教員も超過45時間以内が適用されるようになった。4月5月が休校で成績も1学期は出さなくてもよく部活もないのに、6月の勤務は中学でいちばんよい旭南中で48%。教員を増やすか仕事を減らす点で考えていることはあるか。

主 支援員とか少人数指導は学校から申し出があり、人がいれば入れている。各学校それぞれどのような仕事があるかを精査して改善するよう話をしている。市独自の教員増は厳しい。

ウ) コロナ禍での多忙化解消、安全な学校作りについて

組 勤務校校長にコロナ加配の話を聞いてみると申請しなかったと言っていた。

長 コロナ対応で加配を希望した学校に、少人数指導で小6に1名、中3に1名入れた。市独自に教員は増やせない。現在、欠員が市内でも4校ある。どう探しても出てこない。かろうじて非常勤を入れている学校もある。

組 ブラックが知れ渡って採用希望者数も下がっている。

長 人を増やさないといけないし、給料も上げないといけない。仕事を減らさないといけない。超過時間についても、ひどいところは管理職に対して指導をしている。管理職はその人をよく見て業務を調整するように、45時間を意識して削減するように話している。

エ) 在校時間の適正な把握について

組 時間にこだわると事実と違う記録を書く方もいるので、法に則って正しく記録するように指導してほしい。また休憩時間を全て取れたことになっているのがほとんど。常滑市は7月からC4thの修正が入った。知多市ではどうか。

主 その話を施設管理の方に話をしているが、まだ直っていない。

組 そうすると知多市は1か月で約15時間実際よりも短く計上されることになる。常滑市は改善したが、記録する人の意識が低いと付けないうまになっている。管理職と教員の意識を高めないといけない。

オ) 業務改善に向けた学校マネジメントの推進状況について

組 5年前に措置要求で中部中に衛生委員会を実現した。知多市の現状はどうか。

主 各校にあり、教頭を推進者として毎月1回はやるように言っている。教頭会の折りにも働き方だとか在校時間、指導などについて話をさせてもらっている。声が上がってきたら改善するよう話をしている。

組 衛生推進者に教頭をあて続けている理由は何か。講習を受けさせれば、気がある教諭なら誰でも担当できるはずだが。

主 そのあたりのことは経験年数もある。校長会で話をしたい。

組 学校巡回の折りに職員に委員会の報告をしているか確認してほしい。職員の意識を高めるためには研修をして記録を点検していかないといけない。市教委の責任で進めてもらいたい。

主 常滑がどのように変えたかを含めて(進めていく)。

組 教頭会議後の総括衛生委員会では何か良い意見は出されて現実化したのか。

主 学校としては意識が変わってきて、何をやるべきかを紙に表すなどしながら少しずつ取り組んできている。

組 今年から月45時間を超えたら民間なら刑事罰もあるということを教頭は全員知っているのか。  
主 それは伝えている。これからは月45時間以内でできる取り組みをやるべきだと話している。

組 絶対量が減らないといけない。中学校だと朝部を残しては守れるはずがない。

主 いきなり全てをなくすのは難しく、学校としてうちは部活を中心にやっていくという…。

組 いまどきそんな学校経営はできない。県多忙化解消プランでも朝部は廃止と出されている。

主 地域でやっていただくということを知多市では動き始めたところ。朝練もこれから校長会で話をしていくが、どのように何ができるのか話をしあってもらおうとしている。

組 市教委主導で朝練をやめるよう進めてほしい。地域が言ってくる先生が死んだらどうするんだと言ってほしい。

加 文科省が出した休日の部活動移行計画の知多市におけるタイムスケジュールについて

長 保護者の中には学校は安全なところだからただでやってくれるから学校がやるべきだと思っている人もいます。

組 それを市教委が大きな声で言ってもらえると校長がやりやすくなる。

長 現場の先生たちにも自分たちで考えてブレーキをかけてもらえるようにしてもらいたい。各学校で話し合って意識改革して進めていってもらえると良いと思う。

組 文科省から出た社会体育の移行スケジュールが知多市として決まっていたら教えてもらいたい。

長 総合型のスポーツクラブが受皿にならないか検討してほしいと話している。一生懸命やりたい教員がいれば地元に戻って一住民として指導をすることも一つの方法だ。自分は毎週土曜日に知多市の知柔会の一員として傷害保険と会場の利用料は負担してもらって指導してきた。

キ 「キャリア」教育について

組 市教委として職場体験事業に参加しないように、率先して止めてもらいたい。

長 県教委の事業であり、反対するのはなかなか難しい。

組 キャリア教育の否定はできないだろうが、職

場体験については今度のフォローアップ会議でぜひ発言してきてほしい。

長 影響力は大きくない。

組 小1から中3で作って高校に持っていくキャリアパスポートを、A4用紙1枚で可にしてほしい。

主 県の見本通りでなく、各学校の実情に合わせて決めていただければ良いと伝えていきたい。

ク 副教材・副読本等の選定・採択について

組 知多の友、リーブ、健康手帳は必要がないと思う。健康手帳はC4thで代用できる。買う買わないは学校で決めることにしてほしい。授業時間に出張して作る時間は必要ないし、選定も学校に決めさせてほしい。

主 私がここでは決められない。

組 予算を減らすのには良いと思う。リーブは作成にも時間がかかる。

ク 学校訪問・学校巡回について

組 学校訪問。半日日程くらいにしないと長時間労働削減につながらない。現職教育でやっているのでもそのときに見てもらえればいい。

長 指導案を見ると、どこを大事にしているのかが事前に分かる。ふらっと行って何もなくて見るのでは分からないものがある。

組 学校訪問だと逆に労働管理の条件整備を中心にしていってほしい。本来、施設の状態を検討することは教育長の職責。

長 条件整備で施設担当も一緒に行く。

組 コロナの関係で市町独自でやったところでは、特設だけであとの授業は通っていただけ。これなら学校訪問もいいという声が出ている。

長 学校訪問については、内容等について残念ながらいつも意見は平行線だ。

## 2. その他

ア 特定事業主行動計画について

組 特定事業主行動計画にまた教員が含まれていない。知多市でも市教委が作ってほしい。育児休業取得率とか年休取得率の計画を立てて公表することになる。アンケートもとるので教員の意識も高まっていく。

主 ご意見として承っておく。

組 法で決められているので作るべきだ。教育長がしきりにうなずいているので前向きに考えていただけたらと思う。

以上